



石岡の民家 ③ 太田 登 宅 (三村)

好評！シルバー人材センター

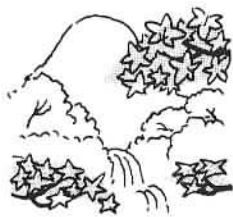
身近な仕事をお手伝い

昨年十月にスタートした(社)石岡地方広域シルバー人材センターは、登録された六十歳以上の高齢者約三百八十名が、豊かな経験を活かして地域の身近な仕事に取り組み、好評を博しています。

植木・造園、草取り、障子張り、賞状書き、老人看護など様々な仕事に対する四月〜九月までの申し込み数は千九百九十九件。そのうち九百四十八件の仕事が行われ、残りは順番待ちという引つ張りダコの状態です。管内の石岡・美野里・小川・千代田・玉里では、総人口に対して六十歳以上が十五パーセントを占めています。増加する高齢者の生きがい・就業要請に応えるシルバー人材センター。その豊かな経験と真心に満ちた労働力をぜひ活用ください。



▶モミジ・ツゲ・梅・松・モチノキなどが植えられた庭を手入れするシルバー人材センターのスタッフ。二日目には、見違えるような庭に変身しました。



植木の手入れで庭が生き返った

モミジ・梅・ツゲ・ツツジ・松・モチノキ・しだれ桃・カイヅカイブキ。十数種類の庭木が植られた庭園で、人影が動きまわった。モチノキの枝に掛けられたハシゴの上で、せんでいバサミが枝を切り落とします。

三村の後久保、高台にある鈴木孝蔵さんの庭です。「どうです。ボサボサの木がすっきりした感じになったでしょう。手入れしていない庭木はまるで綿入れを着ているように見苦しいものです」とニコニコ顔で語るのは、東田中の豊崎徳造さん(69)です。腰には、命づなの安全帯が締められ幹につながれています。

少し離れたところで、もくもくと梅の木を手入れしているのは染谷の川田恵一さん(71)。リーダー格の小井戸に住む浅野総一郎さん(70)は、「私はそもそも造園が本職。植木屋ではないのですが、色々と経験し今こうしてみんなとシルバー人材センターの植木の仕事をやっています。」



▲市内では、高齢者のゲートボールがまっ盛り。10月22日には鹿ノ子健康広場で第1回の市内郵便局主催ふれあいゲートボール大会が開かれ、約300人が参加し行里川Bチームが優勝しました。

庭木は生きていますので、話しかけるようにハサミを入れていきます。仕事が多くて中々大変ですが、帰ってからの食事がうまいのが何よりです」と生き生きとした話ぶり。

作業が進み、庭全体が小綺麗になってきたころ、奥さんの鈴木木はまん65が庭へ出てきて、あら／＼大分格好がついて見違えるようになったわ」と大感激です。

「シルバー人材センターの私たちは、楽しそうに良く動いて貰いぶん高い所までやってくれます。まだまだ現役です。少し前には山林の掃除もお願いして、これも綺麗になりました。近所ではイモ掘りを頼んだ

そうです。何より楽しそうに作業しているのが、見て気分がいいですね。松の手入れの仕方、親切に教えてくれたんですよ」と生き返った庭の前で、奥さんはエビス顔です。

家庭や会社・お店などで人手が必要になったとき、ぜひシルバー人材センターを活用ください。損害保険はセンターで加入済み。安心して仕事に依頼できます。

■シルバー人材センターの主な仕事■

仕事の種類	仕事の内容	時間給(円)
屋外・屋内の軽作業	各種清掃、草取り、ガラス拭き、ポスター張り、除雪、樹木消毒他	500
専門技能と制作修理	建具・表具の修理、内装工事、左官、塗装、自動車運転、植木・造園	700
社会活動・サービス	留守番子守、園児送迎	500
一般事務・筆耕事務	浄書、毛筆表札書き、宛名書き、賞状書き、名簿整理、台帳整理他	価格は字数・内容による。
施設管理・販売外務	店番・集金・配達勧誘、ビル・駐車場管理、他	500
教育指導・特殊技術	書道・和裁などの講師	別途協議

●襖張り…片面一本800円・両面一本1,200円 ●障子張り…普通障子一本550円 ●植木せんてい…一時間750円 ●基礎工事を含むブロック積み…一時間800円 ●草払い…手刈り一時間500円・機械刈り一時間700円 ●福祉サービス…一時間500円
■仕事の経費は、上記の報酬に事務費5%が加算され、それに材料費が加わります。
詳しくは、石岡地方広域シルバーセンターへ。☎3-3399

市民提言「私の生きがい」

市発展を望みながらの日曜大工

●坂部 幸二(62) 国府6-4
私は数年前まで、八百屋を経営していました。無我夢中の三十年間でしたが、時代の流れに沿って自分の職業を捨て、今は息子の「ちやぶ」という中華料理店の手伝いをしています。



定休日の水曜日は、日曜大工で物置を建てたり、趣味のマンダリンやハモニカで古賀メロデイを演奏し楽しんでます。そのうちには獅子頭の彫刻に挑戦したいと思っています。思えば、私たちの世代は戦争という激動の時代を生き抜いてきました。私自身、十五歳で東



ボランティアで生き生きの毎日
●繁野 喜美(51) 茨城一13
今は、朗読ボランティア・グループで盲人の方々のために市報の朗読をおこなっています。私は自分のカラーが強く、のめり込む方なので、つつい自己の殻に閉じこもり、お付き合いの範囲が広がりました。お年寄りの方を見て、ああ色々やってあげたいなと思うのだけれど、実際の生活との兼ね合いにもどかしさを感じますね。少しの時間で、困っている方に少しでもお手伝いができればと思っています。

つとボランティアをやっているつもりです。もちろん、家庭と平行して。この活動で、友人も増え、自分も成長したと思います。ボランティアを志す人は、無理をしないで身近なところから始めるといいですね。

福祉会館とボランティア



▲福祉会館の和室研修室では、カラオケ同好会の方々が交互に演歌を唄いながら午後のひとときを楽しんでいました。

ふれあいの場

石岡市福祉会館

平均寿命八十歳。日本が世界一長寿国となった現在、私の第一の関心事は今年四月一日にオープンした市の福祉会館にありました。そこがどのように利用され、お年寄りの方や身体障害者の方に役立っているかということです。

「人の一生は幾山河を越えるが如し」

この言葉をかみしめ、障害を少しでも取り除き快適な生活を送れるよう、そして一日でも長く余生を楽しみ長寿社会を誇りに思いたいと願いながら、十月下旬、石岡の福祉の拠点といわれる市の福祉会館にお邪魔しました。

市の繁華街からちよつと入った国府五丁目7番（旧貝地）の一角。周囲は民家なので孤立した感じはありませんが、騒音の少ない静かなたたずまいの中、立派な白亜の殿堂が柔らかな陽射しの中に輝いていました。

玄関前には、鈴木堅太郎市長の「福祉の原点は温もりある心である」という碑銘が目を引き

ます。館内の壁側・階段・廊下にはすべてすり上がりがついていて安全設計です。

内部は高齢者福祉センターと身体障害者福祉センターを兼ねた施設として整えられています。高齢者福祉の設備としては、次のように六室に分かれています。

■高齢者福祉センター

- 相談室 ●和室研修室
- 図書室 ●浴室 ●会議室
- 機能回復訓練室

健康的な生活ができる様々な機能が備わっています。入浴は週に月水金曜日の三回。ちやうど私が同ったときは金曜日でしたので、浴室は豊富な湯量をたたえてお客さんを待っているところでした。

研修室では市内の老人会の人たちが、茶菓子を用意してカラオケを楽しんでいました。思いがけないところで、旧知にあったような心の和むひとときを分かっていたきました。

身体障害者センターの方で一番目を引いたのは、リハビリ室です。広々とした場所と機能回復訓練が十分にできそうです。

施設を一通り見せていただき、よくできているのは驚きでしたが、さて利用度の方はということになるとまだまだ利用者が少なく、活発な動きにはなっていないようです。

老人や歩行困難な人たちは、とかく閉鎖的な生活になりがちです。そこで、各地区の老人会や身体障害者に対する積極的な動きかけが必要になってきます。けれども施設の動きかけだけでは、温もりのある社会とはいえません。自主的な善意の輪を広げ奉仕活動を行なっているボランティアの活躍も不可欠のものなのです。

今後はボランティア活動を発展に行なっているボランティアグループひびきの会のメンバー星野昌子さんのお宅で、その活動状況をうかがいました。

★ボランティアの必要性

「ボランティア」という言葉にしてしまうと、何か特別な事をする特殊な人たちと思いがちです。しかし、ちよつとした思いややりや親切・笑顔のあいさつなど、他人に対しての心配りが

人の温もりの中に 幸せな人生がある

どうして利用者が少ないのでしょうか。市民の大切な血税で莫大な費用を投じて完成したこの立派な施設。これを最大限に活用するためには、行政と市民が一体になる必要があります。

この福祉会館にもっと命を吹き込めたらと切に感じました。

ボランティアの精神です。何か人のためにお役に立てることがあったら役立ちたいと思う心が働き、私にとってボランティア活動のお話は興味深いものでした。

昭和五十七年、三人で発足した「ひびきの会」でしたが、現在会員数十二名。盲人の方を対象に、月一回の市報朗読と市のお知らせ版を二本テープに吹き込み、月一回のテレホンサービス（03-33333）を行なっています。声の市報は、二十代から七十代の盲人の方十一名が利用しています。

発足当初は、市の福祉施設・「ひびきの会」の活動の場としていましたが、現在は府中地区公民館を拠点として活動が続いています。月一回のテープ配布日には、皆さん首を長くして待っているとのこと。

「今後はあなたの歌を吹き込んで」



▲10月25日、市内の身体障害児を招いて大子の果樹園でリンゴ狩りが行われました。参加者は、福祉関係者・ボランティアなどを含め約130名。天気に恵まれ、子供たちにとって楽しい一日だったようです。

「ボランティア活動をしていると、こちらが奉仕して与えているように見えますが、実は反対に助け合っている素晴らしい心を育てられているようです。自分にとって、人に喜びを与える事がかえって皆さんの喜びとなつて戻って来ているようです」という星野さんの言葉。ボランティア経験者ならではの話に、改めて助け合いの必要性和人間だけが持つこの特権を、フルに活用したいものだという気持ち強くしました。

ひびきの会の他にも、九つのグループと十五名の個人ボランティアが福祉会館に登録されています。理容奉仕やリクリエーション奉仕で楽しみを分かち合

うグループとか、高校生グループ・手話を学ぶ会など。ボランティア友の会では、十二人の会員が三十人から三十五人のお年寄りを対象に、月一回食事を開いて交流を深めています。

このように心と心の触れ合いがあつて初めて、ボランティアとして活動している証が明確になるのだと思いました。

ボランティア活動についての問い合わせは、市社会福祉協議会で受け付けています。

これからボランティアを始めようとする方、ぜひ福祉会館を訪れてみてください。



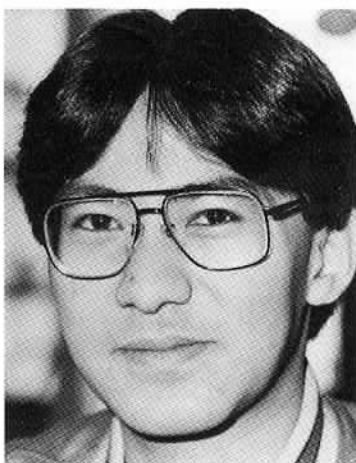
「趣味は飲み歩くことです。ビデオ映画の見たるのロンボアとか赤ちやうちゃん・やぶ信などへよく行きます。

お酒は量よりも気分が飲んでいます。大学時代にはビール五十本・ウイスキー十杯・焼酎五合を一晩で飲んで、記憶が無くなつてしまったこともありま

す。友達の家泊まって、次の

「石岡について」

「商工祭みたいな企画が月一回ぐらいあれば、街が賑やかになるんじゃないかと思ひます。それから、市報などで、いま市がどのような事業・計画を進めているのか分かりやすく簡単に伝えて欲しいと思います。密室で事が進むのではなく、もっと市民との意思疎通を大切にしたいですね」



「面白くても辛いこともありますが、お店に来たお客さんは皆自分のファンだと思ひ、すべて楽しみに変えて仕事をしています。

大学のときは、東京までの三時間の通学も苦になりませんでした。が、通勤となると四十分の時間間も辛いことがありますね」

「趣味について」

「趣味は飲み歩くことです。ビデオ映画の見たるのロンボアとか赤ちやうちゃん・やぶ信などへよく行きます。

お酒は量よりも気分が飲んでいます。大学時代にはビール五十本・ウイスキー十杯・焼酎五合を一晩で飲んで、記憶が無くなつてしまったこともありま

す。友達の家泊まって、次の

ヤング・インタビュー ひまわり談話室 45

●小沼 肇 国府3-5
コーキ真壁店で紳士衣料部門を担当している小沼さん。勤め初めて一年半、愛車ランサーで湯袋峠を越え、約四十分の道程を通勤しています。

「仕事については？」

「面白いことも辛いこともありますが、お店に来たお客さんは皆自分のファンだと思ひ、すべて楽しみに変えて仕事をしています。

大学のときは、東京までの三時間の通学も苦になりませんでした。が、通勤となると四十分の時間間も辛いことがありますね」

「趣味について」

「趣味は飲み歩くことです。ビデオ映画の見たるのロンボアとか赤ちやうちゃん・やぶ信などへよく行きます。

お酒は量よりも気分が飲んでいます。大学時代にはビール五十本・ウイスキー十杯・焼酎五合を一晩で飲んで、記憶が無くなつてしまったこともありま

す。友達の家泊まって、次の



▲歴史の里の防火掲示板が完成！（石岡消防署）

火事の多くなる季節に先がけて、石岡消防署の玄関脇に古風な防火掲示板がお目見えしました。昔の呉服問屋などにあった商家の看板に似たデザインで、すべて署員の手造りです。時期に応じて掲示板のメッセージが変わるそうです。

もしもし税金相談室

年末調整の季節です

たけしくん もしもし、税金相談室ですか。ぼくの叔父さんが、年末調整でお金が戻ったらおもちゃを買ってくれると約束してくれたのですが、いったい年末調整って何なのですか？

税金相談室 年末調整というのは、サラリーマンの給与にかかる所得税を、その年の最後の給料やボーナスが支払われるときに納め過ぎや不足分の精算をすること。たけしくんの叔父さんみたいに戻る人もいれば、逆に納め足りなくてさらに徴収される人もいるんだよ。毎月源泉徴収される所得税の一年の合計額と年税額は次のような理由で必ずしも一致しないんだ。

- ①結婚や出産、就職などのため年の中途中で扶養親族の数が変わることがある。
- ②生命保険料や損害保険料の控除は、毎月の源泉徴収の際には控除しない。
- ③「給与所得の源泉徴収税額表」は、毎月の給与等の額が変わらないものとして作成されている。

この年末調整によって大部分のサラリーマンはその年の納税が完了しますが、①給与の収入金額が1,500万円を超える人 ②給与所得と退職所得以外の所得が20万円を超える人 ③災害による源泉所得税の徴収猶予や還付を受けている人などは確定申告する必要があります。

詳しくは、土浦税務署へ。☎0298-22-1100



戦時中の野外作業

「どうして農家に馬や牛がいたの？」と物質文明に汚染された今の子供たちは、昔の素朴な生活や自然に親しむ暮らしの良さを知りません。



▲開墾で掘り出したクヌギやナラを炭にして俵につめる戦闘帽姿の二人。かつて炭は大切な家庭のエネルギーでした。

写真で綴る

いしおか回想録

19

石岡ギネスブック (28)

郷土玩具の収集半世紀 府中(一)の野村正夫さん



▲昭和15年から野村さんが収集した貴重なコケシや土人形・張り子玩具が、棚いっぱいに並んでいます。今やこの素朴な味は郷土玩具からも失われつつあるのが現状です。

「郷土玩具の魅力は、奇抜な形や自由な描写、そしてその素朴な心にあります。現在の機械文明の中では、非常に貴重なものだと思います」と語る野村正夫さん(74)。その周囲には、東北のコケシや土人形、張り子玩具

・木製玩具などが、個性的な顔をのぞかせていました。

「東北と九州が郷土玩具の宝庫とされていますが、段々とクシの歯が抜けるように作者がいなくなっているのが現状です。私が郷土玩具の収集を始めたのは昭和十五年のこと、日立製作所多賀工場に配属されたのがそのきっかけとなりました。日立市という東北の玄関口に

住んだことを幸いに、さっそく東北六県のコケシ収集をスタートしました。

間もなく太平洋戦争が激しくなり、収集も一時中止。戦時中多くの玩具作家が徴用に取り残されたため、戦後製作する人が減りました。収集を再開したのは、昭和三十年代。昭和四十年まで本格的に集めました。

ところが、そのころから新しい後継者が、見てくれの良いつまらない作品を作り始めたのです。郷土玩具特有の素朴な面白味が消えてしまいました」

の人たちは下草・落葉を集め、たきぎを拾い生活に活用してい



▲円座になって麦の落ち穂を叩く少年たちの表情は、明るく生きいきとしています。角材や竹棒、木の枝を手にし、思い思いの服装での作業は、どこかユーモラスです。

飾られた玩具のほとんどが、汚れもほりもない真新しい状態。作品の底には小さなレタ

ルがはられ、場所・作者名・購入年月日が記入されています。鯛エビス・馬乗り清正・牛乗り天神などの土人形や張り子玩具、九州のキジ車・べんたん人形・キリン獅子などの木製玩具。

半世紀を経たにもかかわらず、あでやかな色彩と童心に満ちた姿が輝いています。

「茨城県にも、那珂湊市の十三奉行と結城郡千代川村に張り子玩具があります。日立市の市立郷土博物館には私のコレクションの半数が、展示されています」折りに触れて、玩具を手にとって眺めるのが、野村さんの安息の時間なのだそうです。

これぞ石岡一。コレクションや特技など身の回りの気付いたこと、自薦他薦を問いません。どしどし編集部にお寄せください。☎030-1111 内線2112

ました。雑木林を開墾すれば、クヌギやナラは焼かれて炭になり家庭の炊炊きや暖房に利用。

上の写真は、炭焼き小屋の前で出来あがった炭を俵詰めしているところ。周囲の風景から判断すると、ここは半ノ木の中央滑空訓練所の一角のようです。

開墾で切り出された雑木の炭と戦闘帽姿の二人。背後では煙がモクモクと漂っています。

下の写真は「援農」と呼ばれた応招農家労働者作業の風景です。初夏の農家の庭先で、小学校高等科の児童たちが麦の落穂を集めて俵で叩いています。

激しかった戦局の中、昭和十四年七月には正上内に青少年愛国鍛錬農場がオープン。

それにしても、上半身裸で裸足、棒を手にムシロに座る子供たちの姿はたくましく生命力にあふれています。豊かさの中に生きる私たちが、どこかへ置き忘れてきた何かが、写真から伝わってくるようです。

漏電検査員を名乗る二人組にご注意

最近、石岡周辺で漏電検査員を名乗る二人組が、一人暮らしのお年寄りの家を訪れ検査を装って金品を盗むという事件が多発しています。

東京電力の名をかたり、一人が屋内配線の検査するため家主に案内をさせて注意を引き、そのスキにもう一人が現金や貴重品のあるところを物色するという計画的で巧妙な手口です。

東京電力では、屋内配線の定期調査は電気保安協会に委託しており、関東保安協会の調査員は一名で各家庭を訪問しています。制服を着て胸に写真入りの名札を付けているので、怪しいと感じたときは、服装を確認し身分証明書の提示を告げてください。不審の際は、東京電力石岡営業所へ。☎4-1811

市長日記

十月三十日(金)

いつだったか、ある新聞の読者欄に四十歳ぐらいの奥さんが自分のことを投稿した記事を書き、ほほえましく読んだことを思い出した。

思えば、凡人の悲しい感情の起伏が、ごくたわいもないことでもそうさせるのである。その繰り返しは、互いの愛情を確認しつつ、より美しいものが造り上げられゆく自然の営みではないだろうか。

奥さんが投稿した記事の内容は、次のようなことであった。彼女のご主人のお勤めは、普通郵便が運く、夕食は多く外食で済ませている。その日も、例のごとくであろうと思いつつも、例外的に考え、いつものように簡単なものを準備しておいた。すると、ご主人は早く帰宅した。ご主人は食卓に向かうや、どうした訳か声を荒げて、

「お前は動もなない遊びの身分で、この飯の準備はなににごだノもう少ししじみしたものであつてみる」えらい剣幕である。思ってもいなかったご主人の激怒に、これまた頭にきた。言葉には出さなかったが、私は、遊んでいるのではない。主人が快適な勤めができる

よう留守の一切に責任を持ち、家事に育児に、実際の暇もなく日々を過ごしている。そんな私の存在など少しも理解していない。もうこんな人とは今日限り離婚し、明日は実家に帰る。奥さんはその席を蹴って立ち上がり、子供の寝室に飛び込み寝てしまったという。夜中過ぎて目を覚ました奥さんは、悪夢のような昨夜の出来事を思い返し、それにしてもあの夕食はどうしたろうと思つて食堂をのぞいた。夕食はきれいに平らげられ、食器までが洗われてござつぱりとした後片付けがされていた。胸をかすめたものは明朝ご主人の朝食の準備であつた。奥さんは早速小鍋に水を差してダシの小魚を入れて静かに床に入つたという。そこには、昨夜起きた台風の跡形もなく、さわやかだけが残っていた。私はこの美しい夫婦像に胸を突かれて、涙で目が潤んだ。長い人生を旅する同行二人。彼らが経験したこのようなことは、それによって二人の愛情が確認され、更に夫婦の絆がより強いものとなって、生涯続くであろうことを信じた。



文化・スポーツ

★図書館 ☎4-1507 ★府中地区公民館 ☎4-1530 ★東地区公民館 ☎6-6503 ★城南地区公民館 ☎6-3341

石岡二高の大山さんが最優秀賞

― 高校生の主張コンクール ―

企画から運営、そして審査まですべてを高校生による、ニューライフ・アドベンチャー「第十回高校生の主張コンクール茨城県大会」が、九月二十七日水戸市の茨城教育会館で開かれ、最優秀賞に石岡二高三年、大山成美さんが選ばれました。

このコンクールは、十年前に名古屋市のある高校生の「大人の受け取りではなく、高校生自身の手で高校生の生き方を考えよう」という呼び掛けで始まったイベントです。

県大会では、四百十四名の応募者の中から、予選を通過した七名の高校生がそれぞれ熱弁を振っていました。



▲最優秀賞に輝いた大山成美さん(右)とボランティアサークルMYC会長の福田優子さん。

最優秀賞を獲得した大山さんのスピーチは、身体障害者介助のボランティア活動を通して生きたこと、活動の大切さを教えられた体験「私の光」。

大山さんは、昨年の夏休み県社会福祉協議会主催のボランティアスクールに参加したのが、この道へ入るきっかけになりました。いつかボランティアサークルがあったら是非入会したいと思っています。



▲激しいデッドヒートが展開された市内小学校陸上競技大会記録会。

第16回 市内小学校陸上記録会

●秋空のもと好記録続出●

た矢先、高校生仲間と組織しているサークル・MYC(メンバー・ヤングクラブ)「福田優子会長」に入会しました。

会員は、石岡一高・二高、八郷高校、湖北高校の男女生徒二十四名。

毎月第一・第三日曜日は、市内にある福祉施設「けやきの家」でボランティア活動に励んでいます。

今では、子供たちから「お姉ちゃん、お姉ちゃん」と慕われ、越前大会に出場します。

市教育委員会・市教育研究会 市小学校体育連盟主催の「第十六回市内小学校陸上競技大会記録会」が十月二十日(火)、杉並小学校運動場で開かれました。

この記録会は、陸上運動を通して、技能・記録及び体力の向上と、互いに協力して練習をし、スポーツマンシップを育て、小学校間の親睦を図ることを目的とされています。

公民館 結婚ショーで大爆笑

府中地区公民館まつり

秋たけなわの十月二十四日・二十五日の両日、府中地区公民館・同公民館同好会主催による「第二回府中地区公民館まつり」が盛大に開かれました。

公民館まつりは、ここを学習の場として利用している講座・同好会などが一同に集い、一年間の成果を楽しく発表するものです。

作品展には、手編み・藤工芸・洋裁・革細工・水彩画・写真・パンの花・木彫り・フランス刺しゅう・パッチワーク・ミニ面などの同好会会員のすばらしい作品がずらり展示。

会場には二日間で延べ約七百名の方々が訪れ、館内は熱気がムンムンといったところ。

今回参加した同好会は、昨年より二団体増え十八団体になり、内容もより一層充実したものにまりました。



▲太極拳同好会の皆さんによる実技発表。

大正琴同好会は、二十名の会員により波浮の港、美しき天然、花言葉の唄、さくらさくらの四曲が演奏されました。

太極拳同好会は、会員十名によりシルクロードの音楽に合わせた太極拳の基本型を紹介。

着付け同好会では、花嫁・花婿ショーが行われ、会場は一瞬笑いの渦に包まれました。それもそのはず、花婿に扮したのは中山三千夫府中地区公民館長、

図書館 野口雨情の世界

◆おはなしと歌の集い◆

読書の秋を迎えた十月二十日、市立図書館・市読書会連合会主催で「おはなしと歌の集い・野口雨情の世界」の講演会が、市立図書館で開かれました。

当日は、表題のおはなしと歌の集いというところで、雨情の孫野口不二子さんと、国立音楽大学を卒業後、日本の歌に取り組み、積極的に演歌活動を行っている大内寿恵さんという最高の組み合わせ。

そのためか、講演の始まる十分前には会場内は大勢の人で身動きも取れない大盛況。

始めに野口不二子さんが、家族から見た人間雨情の隠されたエピソードを盛り込んだ講演。雨情は、現在の北茨城市磯原に生れました。

二十一歳で詩壇に登場し、大正八年の夏「おはなしと歌の集い」で有名な船頭小唄を作詩、中山晋平先生に作曲を依頼し脚光を浴びるようになりました。この曲で象徴されるように、雨情は長男正男不二子さんの父親に「名譽とか金とか外見に触れずに、いい作品を残したい」と、口癖のように言っていたそうです。

雨情が亡くなって四十年経った今でも「七つの子」や「赤い靴」など数多くの名曲が、子や孫に歌い継がれている秘訣がこの講演で納得とあったところ。

この後、大山さんのすばらしい声で雨情の作品が次々と紹介され、集まった人たちは曲が終わるたびに拍手喝采でした。



▲エピソードを交えて雨情の人間性などを話す野口不二子さん。

石岡のお寺

8ミリ映画完成

雪の参道を行く行脚僧のシルエット。おつごもりの夜に打つ除夜の鐘。寺のいらかの上を泳ぐ鯉のぼり。

石岡の四季にたえずむ十五カ寺の姿が、雲の流れのように緩やかに展開してゆきます。

完成した8ミリ記録映画「石岡の寺」は、二年半の歳月をかけた作品です。

雪の参道を行く行脚僧のシルエット。おつごもりの夜に打つ除夜の鐘。寺のいらかの上を泳ぐ鯉のぼり。

石岡の四季にたえずむ十五カ寺の姿が、雲の流れのように緩やかに展開してゆきます。

完成した8ミリ記録映画「石岡の寺」は、二年半の歳月をかけた作品です。

第2回市長杯剣道大会		11月1日(日)、海洋センター	
団体の部	優勝 府中剣友会	準優勝	高浜剣友会
個人の部	優勝 小福田知郎(四酔会)	準優勝	今泉 孝夫(高浜剣友会)
(3段以下の部)	優勝 小福田知郎(四酔会)	準優勝	今泉 孝夫(高浜剣友会)
(4・5段の部)	優勝 吉沼 正治(府中剣友会)	準優勝	羽成 一郎(園部剣友会)

- 男子の部
 - 百メートル 本田典秀(三村小)
 - 磯山賢志(府中中)
 - 二百メートル 岡本佳朗(杉並小)
 - 六十メートルハードル 広原 邦彦(高浜小)
 - 鈴木日出男(杉並小)
 - 八百メートル 望月政徳(東小)
 - 走り幅跳び 川端 龍(東小)
 - 走り高跳び 元木 英之(府中中)
 - ポールスロー 原田秀文(三村小)
- 女子の部
 - 百メートル 鈴木良美(南小)
 - 二百メートル 早川菜穂子(南小)
 - 六十メートルハードル 引地美香(南小)
 - 砂山洋子(東小)
 - 広瀬美智子(高浜小)
 - 八百メートル 小川益子(東小)
 - 走り幅跳び 坂本玲子(高浜小)
 - 走り高跳び 原田由美(東小)
 - ポールスロー 梁田 保江(南小)



▶常陸国分尼寺跡に萩・山吹を献木
全国の国分寺跡を回り、一人でその保存運動を続けて、いる東京杉並区の主婦 岩永運代さんが、石岡へやって来て、寺跡へ萩と山吹を百五十株ずつ寄贈しました。昭和58年と今回の2度の寄贈で、尼寺跡公園は、次第に充実した環境増になっていきます。

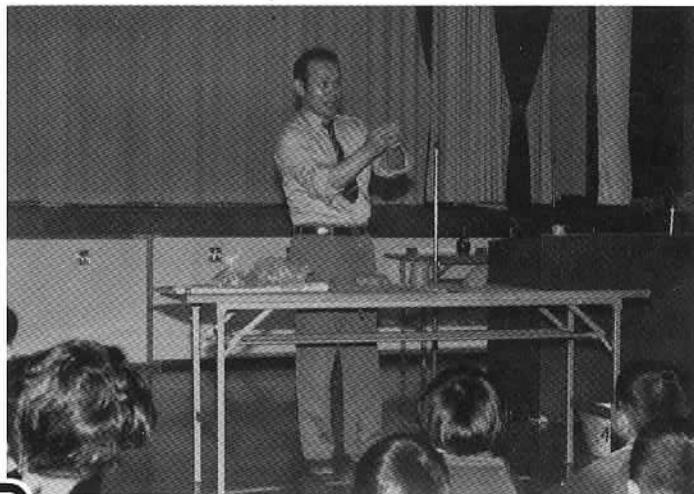


▲石岡ロータリークラブからビデオデッキと歴史の里・いしおかのビデオテープがプレゼント

石岡ロータリークラブ（森田俊輔会長）では、広く市民の方々に歴史の里・いしおかを理解していただこうと先日、ビデオデッキ3台と「歴史の里・いしおか」のビデオテープ26セット（2巻1セット）を市に寄贈。市では早速3地区公民館にビデオデッキとテープを備え付けました。また歴史の里・いしおかのビデオテープの貸し出しを各地区公民館・図書館・教育委員会文化係で受け付けていますのでお気軽に利用ください。



◆あなたの健康度をチェックします
第12回健康まつりが10月8日、メデ
イカルセンターで開かれ尿・血液検査
映画会、血圧・塩分・体力測定と続き
午後からは、現代の恐しい病気とされ
るエイズについて水戸協同病院副院長
小泉雄一郎さんが「カラススライドで
見るエイズ」と題し講演があり、集ま
った多勢の人たちは真剣そのもので聞
き入っていました。



▲親子で仲良く陶芸づくり（北小学校）

10月24日(土)、北小学校で親子陶芸教室が開かれました。これは家庭教育学級の一環で、親子の共同作業を通してコミュニケーションを図ることが目的。講師には笠岡の陶芸家・福田さんを迎え一輪ざしと花瓶の製作。この日ばかりは、お父さんお母さんも汗だくにやり手といっしょに2人3脚、出来上がった作品を手にと大喜びの1日でした。

▼交通事故ゼロを願って交通安全フェスティバル(石岡駅前通り)

石岡地区交通安全協会、石岡青年会議所主催の「第8回石岡地区交通安全フェスティバル」が11月1日駅前通りをメイン会場に開かれました。当日は県警のカラーガード、音楽隊を先頭に市内をパレード。その中で花を添えてくれたのはばかり保育園・ばらき幼稚園児の鼓笛隊。道行く人々から「カワイ〜」の声しきり。



まちの
できごと

●●落ち葉舞い散る6P●●

▶新米の無料配布に長蛇の列（市産業祭）

第15回市産業祭と「日市場・米まつり」が10月17・18日の両日開催された。物産展・工芸展・暮らしのコーナー・アニメ映画・安売りが市民会館で、子供の広場・一日市場・10円コーナーなどが市民広場で開かれ、特に新米の無料配布に長蛇の列。2日間て延べ3万人の人が会場へ訪れた盛況。



▼俳句の部

国府四 大場 和子
秋の風木偶の泣き声別にあり

家建てるまでの畑の今年米

新米の俵ごろりと農に生き

新米に心をこめて贈らるる

新米を好みきらきら老いたしや

文芸いしおか

国府四 太田 緑

総社 二 楚阪 和彦

▼俚謡の部 題一文

故郷の方言そのまま、書いて

国府六岩崎山水

親が照れてる參觀日

ぼくらの名物先生

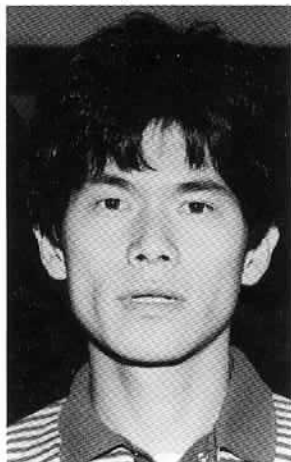
35

●府中小学校 久保田憲先生(30)
結婚して6年目という久保田先生は、3歳と1歳になる2児のよきお父さん。

機械いじりが大好きで、暇を見つけてはラジオや無線機などを組み立てているエンジニア。

「足が長くて、スマートなかつこいい先生なんだ」と、中沢真也君が元気を声で第一声。

栗栖文子さんは「授業中に楽しい話を聞かせてくれたりするので、勉強がとてもおもしろい」「算数などで分からない所



子供たちの中へ自分から積極的に飛び込んでいくんです。努力家の先生で感心しています」

五年二組の教室へ入ってみると、全生徒が手拍手に合わせて「自己紹介、自己紹介」の大合唱で迎えてくれました。

田能康比呂君は「夏休みの理科自由研究で『ありのテレビasion』と題し、課題に取り組んだが夏休みにもかかわらず一生懸命教えてくれたんです」

があると、とことん教えてくれた」と、片田尚徳君。

くらしのガイド

10月の市内交通事故

発生件数	25(262)
死者	1(1)
傷者	32(345)
(内は1月からの累計)	

★市役所 ☎3-1111 ★市民会館 ☎2-5187 ★テレホンサービス ☎3-3333

休日・夜間緊急診療

●休日 受付 午前9時～午後3時30分		●夜間受付 午後7時～10時30分まで	
月	日	産婦人科	外科
11月	29日(日)	松山医院 (6)-3812	根崎病院 (3)-6611
	6日(日)	松山医院 (6)-3812	石岡第一病院 (2)-5151
12月	13日(日)	飯田医院 (2)-2268	滝田整形外科病院 (3)-2071
	20日(日)	富田産婦人科医院 (3)-0311	山王台病院 (6)-3130
	27日(日)	松葉病院 (3)-2157	齊藤病院 (6)-2131
	29日(火)	松山医院 (6)-3812	青木医院 (3)-0221
	30日(水)	飯田医院 (2)-2268	石岡市医師会病院 (2)-4321
	31日(木)	富田産婦人科医院 (3)-0311	同愛病院 (2)-2261
1月	1日(金)	松葉病院 (3)-2157	府中病院 (2)-2146
	2日(土)	松山医院 (6)-3812	田中病院 (3)-2288
	3日(日)	富田産婦人科医院 (3)-0311	根崎病院 (3)-6611

内科・小児科
歯科(11:30まで)
メディカルセンター
杉並2-1 ☎4-1386
但し
12/29 芹澤医院(内科)
12/29 岡崎歯科医院
12/30 同愛病院(内科)
12/30 美形歯科医院
12/31 同愛病院(内科)
12/31 高野歯科医院

夜間
(内科・小児科)
11月29日・12月5日
・6日・12日・13日
・19日・20日・26日
・27日・29日・30日
・31日・1月1日・
2日・3日

ふるさと 散歩道 59

長峰寺にあった

十一面観音さま

市立図書館のある大通り・長峰寺通りを西に向かい、突き当たる手前百メートルの路地を右に折れると、そこに朱塗りの観音堂があります。小さな境内には、石岡車馬組合が建てた馬頭観音の碑や石仏群。
お堂には、県指定の有形文化財・十一面観音が安置されています。像の高さ一メートル二十センチ、寄木造りのこの立像は室町時代の作で、かつてあった長峰寺の寺宝だったと伝えられています。
本来、十一面観音の頭上には化仏と呼ばれる十一の仏頭が乗



▲10月28日、商工会議所主催の石岡史跡めぐりの一行50名は、ここ若松町十一面観音堂を訪れ、友水幸蔵さんの説明を受けながら十一面観音を参拝しました。

つていますが、この観音様には中央に一つしかありません。十一面観音の化仏は、観音様の様々な法力・功德が現れている衆生のために働こうとして、ロケットのように発射する瞬間の状態を表現しています。正面の三面は優しく説法している菩薩相、右側の三面は分かつてくれない人々に涙ながらに説得する相、左の三面は説法を邪魔する悪魔を追い払う憤怒の相。後頭部には、やっとなつてくれたかと泣いて喜ぶ大笑相、

そして中央に深い慈悲の心を表す如来相が飛び出しています。長峰寺の十一面観音に残っている化仏は、如来相のみ。あと十面があつたら、どんなに素晴らしいかと思ひます。しかし、五百年という気の遠くなるような歳月を漂流し、化仏以外はほぼ完全な形で保存されていることを考えると、やはりこれは貴重な文化財です。
この観音堂を古くから守ってきた友水幸蔵さん(75)は、「昭和四十一年にそれまであった木造のお堂を修復し今の朱塗りのものにしました。当時、周囲は桑畑でした。観音様の管理は若松七部でやっています。この細い道は昔の日光街道で、大勢の人や馬が参りに来たそうです。毎月十八日が縁日で、一月十八日が初観音として大祭を行っています」
地名のみに残る長峰寺。そのただ一つの遺産がこの十一面観音だったのです。

村山保	61	若松三	泉町
永作	80	若松三	泉町
桜井	79	国府二	
小堀	87	国府二	
井次郎		国府二	
筆次郎		国府二	

次の名前が漏れていました。ここにのべておぼろげに描かせていただきます。
七月中に届け出のあつた中で、秋晴れの休日、友人を集めて野外料理。前日の雨で濡ったマキに火をつけるのに悪戦苦闘です。悪条件でもマッチ二本で点火するボーイスカウトとは違い、マッチ二箱でやっとこさ。ようやく、煙の中で牛肉やタマネギ・イカの足を口においしさです。野趣いっぱいのおいしさです。寒くなつたら、ロシア料理のボルシチを作ろうと、いま毎朝山へ登って焚き木取りです。

編集後記

健康相談

- 妊婦教室 メディカルセンター
12月7日(月)・14日(月)・21日(月) 午後1時30分～4時
12月17日(木) 東地区公民館
12月24日(木) 府中地区公民館
- 市民健康相談 福祉会館(国府5-7-1)
毎週月・水・金曜日 午前10時～午後3時

赤ちゃん健診

- 3カ月児健診 メディカルセンター・病気の時は翌月に
12月2日 午後1時～2時 対象 昭和62年8月出生児
10カ月児健診 メディカルセンター
12月9日 午後1時～2時 対象 昭和62年1月出生児
1歳6カ月児健診 メディカルセンター
12月16日 午後1時～2時 対象 昭和61年6月出生児
「お子さんの歯ブラシを、持参ください」
12月22日 午後1時～2時 対象 昭和59年11月出生児
「お子さんの歯ブラシを、持参ください」

各種相談

- 精神衛生相談 石岡保健所 ☎4-11335
12月11日(金)・25日(金) 午後1時～3時
精神障害(アルコール中毒・シンナー中毒も含む)
※専門の精神科医師が直接相談を受け付けます。
●精神障害者リハビリ事業 石岡保健所 ☎4-11335
12月2日・9日・16日・23日 午前9時30分～
対象 在宅精神障害者で年齢50歳未満の方で通院治療を受けている方。詳しくは石岡保健所へ連絡ください。
消費生活相談 毎週月曜・土曜日 市役所市民活動係

困り事

- 市民相談 毎週月曜・土曜日 市役所市民相談室
●困りごと相談 福祉会館 ☎2-2940
12月4日(金)・18日(金) 午前10時～午後3時
●行政・登記相談
12月10日(木) 午前10時～午後3時 市役所会議室
●法律相談 市民相談室(予約は電話で・内線263)
12月8日(火) 長谷川恒弘弁護士 午後1時
12月22日(火) 野武興一弁護士 午後4時
●交通事故相談 福祉会館 ☎2-2940
12月18日(金) 午前10時～午後3時

こんにちは 赤ちゃん

浅野浩一くん(二歳七カ月)
国府六丁目

「子はかすがいですが、ネノ浩一が生まれてから家の中がとてもしっかりなりました。85歳になるおばあちゃんがいるのですが、この児が保育園から帰ってくるなり肩を叩いてあげてくれるので、お母さんとしては大変うれしいです」
お母さん、家では大事な宝です。お母さんの浅野初子さん(40)は、近所の氷屋さんへ獅子頭を見に行くのが楽しみというお母さん。

歌川桂子 36 東石岡五

十二月四日から十日までは人権週間です。これは、昭和二十三年十二月十日国際連合総会で「世界人権宣言」が採択された日を記念して始められたもので、本年は三十九回目にあたります。国民の基本的な人権は憲法によって保障されていますが、人権週間、この基本的な人権をより一層大切にするよう改めて考えるための週間です。
人権は、自分と同じように他人にもあることを認識し、お互いに相手の立場を考えて豊かな人間関係をつくりましょう。